

## The 13th JTRI-KOTI Joint Seminar 2017

日時：平成29年8月23日（水）  
場所：運輸総合研究所（東京）

## ■JTRI-KOTI Joint Seminarの概要

JTRI-KOTI Joint Seminarは、日本と韓国の運輸交通分野の研究等について意見交換を行い、当該分野における両国の発展を目的としたセミナーである。

セミナーは日韓が交互に幹事国となり第13回目となる今回は東京での開催となった。

韓国側は、政府機関である韓国交通

研究院（KOTI）から李院長を含め6名の研究員が参加した。一方、当研究所から山内弘隆運輸総合研究所所長を含め16名の研究員等が出席した。

セミナーは、3つのセッションに分けて行い、それぞれのセッションで日韓双方の研究員が発表を行うとともに、コメントからの意見も交え、闊達な議論が展開された。また、李院長、山内所長により、引き続き交流を促進するためのMOUの締結も行った。

## 1—セッション1：防災システム

日本側からは、鉄道を中心とした自然災害管理システムの枠組みや対策について紹介した。

韓国側からは、韓国における自然災害の特徴と対策について発表された。具体的には、災害による人的被害や物的損害を最小限に抑えるための交通災害管理（TDM）について、輸送機能を確保するための輸送計画、監視などの体制や災害時の対応を管轄する組織の運営管理について発表があった。

## 2—セッション2：緊急時の対応措置

日本側からは、災害時の空港の役割の重要性を整理するとともに、災害時に空港がなすべき対応の枠組みと能力の強化について提案を行った。

韓国側からは、都道府県レベルの道路を対象とした災害時の緊急ルートの設定について、スピード、アクセシビリティ、多様性という3つの基準に基づいたルート選択の方法について提案があった。ルート設定は、道路の幾何学的特性、運行特性、階層的特性の3つの選択要素に基づき設定するとともに、各要素の相対的重要度は、AHP (Analytic Hierarchy Process) 手法を使用して評価している。

## 3—セッション3：災害時の観光・交通の影響緩和

日本側からは、2015年の箱根山噴火

## The 13th JTRI-KOTI Joint Seminar 2017

13:30~13:40	開会挨拶 山内弘隆 Chang Woon LEE	運輸総合研究所所長 韓国交通研究院院長
13:40~14:00	MOU締結	
14:00~15:10	【セッション1：防災システム】 交通分野における防災のための法的・組織的措置 Changhwan MO 鉄道分野における自然災害マネジメント 大堀勝正 コメンテータ 林田拓人 Jun LEE	韓国交通研究院主任研究員 運輸総合研究所研究員 運輸総合研究所主任研究員 韓国交通研究院研究員
15:10~16:20	【セッション2：緊急時の対応措置】 緊急ルートの指定と利用に関する研究 Jun LEE 災害対応における空港運営を強化するためのモデル開発 崔善鏡 コメンテータ 五十嵐達哉 Sangjin HAN	韓国交通研究院研究員 運輸総合研究所研究員 運輸総合研究所主任研究員
16:40~17:50	【セッション3：災害時の観光・交通の影響緩和】 ビッグデータと災害管理 Sangjin HAN 自然災害が観光と対策に及ぼす影響 坪井史憲 コメンテータ 崔善鏡 Changhwan MO	韓国交通研究院研究員 運輸総合研究所主任研究員 運輸総合研究所研究員 韓国交通研究院主任研究員
18:00	閉会	



警戒レベルの引き上げと2016年の熊本地震の前後の観光客の推移について、ビッグデータなどを用いて分析を行うとともに、観光客の減少対策として政府による支援の事例などを紹介した。

韓国側からは、災害発生時のビッグ

データの解析について紹介があった。ビッグデータの活用による被災者の正確な場所の特定、必需品の把握、適切な輸送モードやルートの活用による迅速な救助方法など、災害時のデータの活用方法について発表が行われた。ビッグデー

タの情報源は、スマートフォンとなることから、災害時もモバイルネットワークの維持が不可欠であると示された。

(とりまとめ：深作和久、新倉淳史)